

## 台湾からのお客様

台湾でリサイクルせっけんを製造している林 瑩茹 (Ying-Ju Lin) さんと、台中市メイプルカルチャーアソシエーションの江 鳳英 (Chian, Feng-Ying) 老師 (先生) が手賀沼工場を訪問し、工場を見学されました。林さんは、以前印旛沼せっけん情報センターを訪れたこともあります。今回は、東京での SDGs Week Expo に参加のため立ち寄られました。運営委員のメンバーがせっけん利用推進条例のある我孫子市を紹介。台湾ではせっけん作りを応援する議員はいますが、利用推進条例はできていないとのこと。互いにせっけん作りの情報を交換し、我孫子市消費生活センターで市の職員とも交流しました。(11/28)



↑通訳さんを通して、情報交換をしました  
←大釜を囲んで前日焚いたせっけんの説明をしました

## 第27回通常総会のお知らせ



日時：2025年5月23日(金) 14:00～16:00  
場所：せっけんの街 本部 地域交流スペース“うてな”  
(オンライン併用での開催) ※詳細は、後日送付いたします。

**同日開催!** 学習会「(仮)せっけんのよさを見直そう!」  
講師：榎田博さん(せっけんの街理事・化学物質アドバイザー)  
日時：5月23日(金) 10:00～12:00  
オンライン併用で開催  
参加費無料 ・ 要事前申込  
申込みはこちらから⇒



## ご寄付のお願い

日頃より、NPO せっけんの街の活動を応援してくださりありがとうございます。今年度予算では、安定的な工場の運営を維持するため、寄付総額 250 万円を決めました。現在 112 万円とまだ目標額に達していません。すでにご寄附をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。引き続きご支援をどうかよろしくお願いいたします。

<お振込み先> ゆうちょ銀行 加入者名：NPO せっけんの街 記号番号 振替口座：(当座):〇一九店(ゼロイチキュー)178152

無農薬の害虫忌避剤♪

☆☆ これ!おススメ! ☆☆

## ニームオイル

「ニーム 640」が名前を変えてリニューアルし、価格を下げてお求めやすくなりました。ニームはインドに生息する樹木で、種子から採取されたオイルには虫を寄せ付けにくい環境づくりに効果があるとされている有効成分(アザディラクチン)が含まれています。せっけんの街ニームオイルには高品質のインド産ニームオイルを使用しています。ハーブオイルを配合することで効果を高め、ニームオイル独特のにおいも抑えています。乳化剤として、せっけんを使用しています。家庭菜園・花壇・樹木・プランターに。虫が出る前の散布が最も効果的です。

【原材料】  
ニームオイル、ハーブオイル、グリセリン



内容量：1,800ml 500ml  
会員価格：3,440円(税込) 1,354円(税込)

※お問い合わせは、せっけんの街まで

無農薬害虫忌避剤「ニーム」の使い方動画⇒

編集後記：「手賀沼せっけん物語」を再読。リクエストに応え、せっけんが開発出来たのはユーザーがいたからこそであり、大量の注文が入り技術が上達したからだといえます。大勢の人々に支えられているせっけんの街。使う人から焚く人になってみて継承する大切さを感じます。(須田)

NPO せっけんの街では会員を募集しています  
ぜひお友だちをお誘いください(\*^-^\*)

【年会費】 個人 3,000 円 団体 10,000 円

【会員の特典】

- ① 会報の送付
- ② せっけんの街の製品、仕入れ商品が会員特価で購入できます。
- ③ 活動に参加すると、活動費・交通費が支給されます。



せっけんの街

ホームページ

<https://sekkennomachi.org>

# せっけんの街

会報 No. 88

〔発行〕

特定非営利活動法人せっけんの街

住所：千葉県柏市小青田 29-2

電話：04-7134-0463

FAX：04-7134-7468

H P： <https://sekkennomachi.org>

〔発行責任者〕道端園枝

〔発行日〕2025年3月31日

〔会員数〕個人 201 団体 42  
2月28日現在



## 1984年～2024年 せっけんの街 40周年の記録(クロニクル)

私たちの歴史をふりかえってみました

★誕生秘話★ せっけんはじめの一歩

古くから漁場として栄えた手賀沼が「日本一汚れた湖沼」と呼ばれるようになったのは1974年から。その環境汚染の主たる原因が、流域に住む自分たちの生活排水であることにショックを受けた人々は「合成洗剤追放運動」を展開します。

さらに、自らが加害者にならないよう、家庭の廃食油から「せっけん」を作って使おうと、すでに高温焚き込み法でリサイクルせっけんを作っていた滋賀県のマルダイ石鹸から技術指導を受けます。手賀沼の再生を目指した「せっけん工場」づくりから、私たちの歴史が始まったのです。



1984年 10月	(株)手賀沼せっけん設立 「せっけんの街せっけん」 生活クラブ生協で共同 購入開始	・純せっけん分 60%の「せっけんの街せっけん」誕生
11月		
1985年 3月	手賀沼工場初釜炊き	日本で初めての市民出資のせっけん工場。マスコミ(新聞社、TV、雑誌)や見学者が殺到。
1994年	ワーカーズコレクティブ萼 (うてな)設立	モンゴルとマレーシアの工場に倣った、女性が担える工場。 萼=お釈迦様の台座。「せっけん運動を支える縁の下の力持ちになりたい」という願いから命名。
1995年 1月	印旛沼せっけん情報セン ター 初釜焚き	製造技術等の研修、情報公開できる場所。油をせっけんに換え、自分で使う「資源循環」を提案。
1998年 8月	「うてなちゃん」(固形せっ けん)発売 「バケツ君」発売	・純せっけん分90%の台所用固形せっけん。惣菜ワーカーズからのリクエストで誕生。名前の由来は萼から。 ・純石けん分 70%で炭酸塩入りの固形せっけん。車を洗いたいとのリクエストから開発。タクシー会社でタイヤなどの洗浄にも使われている。
1999年 3月	「萌」発売	台所用粉せっけん。 「萌」の由来は、せっけん運動の新しい芽を出したい気持ちから。
11月	特定非営利活動法人 せっけんの街設立	共有者の会、株式会社手賀沼せっけん、ワーカーズコレクティブ萼を統合しNPOに。
2006年 7月	重曹入り洗濯用粉せっ けん「あんしん」発売	純せっけん分 70%で重曹と炭酸塩入り。 「萌」で洗濯すると衣類が柔らかく、白い粉が付きにくいので、大容量が欲しいとの声から開発。環境にも赤ちゃんにも「あんしん」。
2011年 3月	ジェルせっけん「こはく」 発売	洗濯用の液体せっけん。ココナッツ油 30%配合。 液体洗剤が主流になっている中、開発。 ラベルデザインは、会員から募集。
2016年 11月	「ほのか〜ほんのり香る衣 類の仕上げ剤」発売 台所用液体せっけん 「おれんじ」発売	生活クラブ生協千葉の組合員と共同開発。天然ラベンダー精油で洗濯がアロマタイムに。クエン酸効果で仕上がりがふんわり。 こはくをベースに台所用を開発。天然のオレンジオイル配合。
2022年	「お風呂洗い用せっけん」 発売	オレンジオイルとセスキ炭酸ソーダ配合。アンケートで風呂洗いは合成洗剤の人が多かったことから、生活クラブ組合員と開発。

(引用：「手賀沼せっけん物語」 市民がつくった「せっけん工場」より)